

○事業所名	地域療育センターあおば 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	2024年11月11日		～ 2024年11月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	104	(回答者数) 92
○従業者評価実施期間	2024年11月18日		～ 2024年12月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 23
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画書について定期的に保護者に説明し、支援計画に沿って支援を実行できている。保護者にも一定の評価をいただいている。	児童発達支援管理責任者と直接支援担当者(担任)が複数回ミーティングをもち、適切な支援内容になるように話し合いながら作成している	支援計画書の5領域や家庭支援など、各項目の目的や意図することのさらなる理解と、子どものアセスメント力や文章の構成力、説明のためのコミュニケーション力の底上げを図っていく
2	児童発達支援管理責任者だけでなく、定期的に他職種がクラスに関わる仕組みがあり、検討が必要な際には適宜カンファレンスが開催されている	公認心理師が各クラスに定期的に入り、子どもへの支援やクラス運営に対し、保育士・児童指導員以外の専門的な視点を支援に反映できるように工夫している。相談員や他の専門職種とも情報を共有するように心がけ、必要時に速やかに適切な相談に繋がるように意識している	子どもに関わる職員のそれぞれの専門性や支援内容について理解を深める工夫と、総合的な支援に繋がるように情報交換や共有、カンファレンスの持ち方により一層の工夫を検討していく
3	保護者からの様々な意見や相談を把握する機会を多く設定できている	定期面談や親子日、振り返りシートなどを活用して、速やかに保護者の方からの意見や相談に対応できるように工夫している	親子日での情報共有できる体制を継続していくとともに、相談事に対して幅広い視点を持った支援になるように知識・技術向上を図っていく。また、保育士・指導員だけでなく、あおば全体の支援体制の充実、連携の強化を図っていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種マニュアルの周知が不十分なことと、マニュアルに沿った実際の動きがわからないとの声が多い	<ul style="list-style-type: none"> ・実用的なマニュアルとなるように見直しが必要 ・説明の機会を複数回設けていないため、浸透しにくさがある ・マニュアルをしおり等に載せているが、施設内で閲覧できるようにしていない ・保護者の避難訓練参加の機会が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なマニュアルの見直しの実施 ・周知方法、周知回数の検討 ・施設内での閲覧ファイルの設置 ・防犯、防災について保護者への伝達講習の企画
2	職員は保護者勉強会など、保護者に対し学ぶ機会の提供ができていると感じているが、保護者はより多くの学びの機会や内容がほしいと感じており、意見に相違がある	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者ニーズの把握が足りない ・勉強会の内容がニーズと合っていないことがある ・提供している内容に不十分な点がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のニーズの把握と内容への反映方法の検討 ・提供する内容のブラッシュアップ
3	主に複数クラスが使用する共有場所での安全面について不安の声が保護者、職員共にあがっている	<ul style="list-style-type: none"> ・共有場所の環境設定作りやルール作りに課題がある ・職員の対応方法、クラス間のコミュニケーションのとり方に課題がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・共有場所の使用ルールの明確化 ・使用ルールの周知の徹底(職員も保護者にも) ・職員の対応力、コミュニケーション力の向上 ・使用遊具の再検討
4	子どもの特性に合わせた活動の提供について、職員と保護者の意見に相違がある	<ul style="list-style-type: none"> ・提供している活動の目的や内容について十分な説明や同意を得て実施できていないことがある ・保護者の思いの聞き取りが不十分である 	<ul style="list-style-type: none"> ・提供する活動について、目的が保護者に明確に伝わるような工夫 ・保護者の意見がより多くきけるような場と方法の検討

事業所名 地域療育センターあおば 通園

公表日

2025年 3月 21日

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	20 87%	3 13%	<ul style="list-style-type: none"> 活動スペースが区切られて居ることで把握しやすい クラスの状況に合わせて常にクラス担任以外の職員も入れる等、工夫されている スペースに合わせて利用人数を検討したり天候に応じた利用時間の検討をしている。また、危険が想定された際は、見直しを行った 	普段の使用調整と共に、悪天候時など、室内で過ごさねばならない時の過ごし方について検討が必要
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	17 73.9%	6 26.1%	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時にもフリー職員を配置させている 行動が大きかったり近位で見守りが必要な子どもがいる中での集団生活は、利用児6名で職員3名が適切であると思う。職員配置が増えることで療育の質が上がる。 非常勤職員やフリーの職員を毎日調整してクラスに入るようにしているため、クラス運営がしやすい 子どもの状態に合わせてフリーの職員や非常勤の職員が入り、体制が整えやすい 登降園時に看護師や栄養士等、他の職種の方がサポートに来てくれて運営の助けになっている 非常勤職員が充足し、必要に応じてクラスの手手を調整しながら支援できるようになっている フリー職員の増員と必要箇所の聞き取りや相談により、必要される場面での人手の調整が行いやすくなった職員の配置人数だけでなく、職員のスキルが向上していくとより臨機応変な対応ができると考えられる 	現在も担任と相談のもとクラスや子どもの状況に応じてフリー職員や非常勤職員を配置しているが、人員配置だけでなく、活動やスケジュールの組み方や内容の見直し、把握の仕方等も検討が必要
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	21 91.3%	2 8.7%	<ul style="list-style-type: none"> 視覚提示があることが良いと思う パーテーションや視覚提示等、子どもにとって集中しやすい環境ができていると思う 	<ul style="list-style-type: none"> 限られたスペースを有効に、かつ安全に使用するための工夫や対応が十分でないことが課題 子どもの特性に応じた対応力をつけていくことが課題
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	22 95.7%	1 4.3%	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の清掃、おもちゃ、備品の消毒を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な点検と計画的な修繕や遊具の購入のための仕組み作りが必要 清潔で安全な環境が保たれるための意識をどの職員ももてるような意識づくりが必要

	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	19 92.6%	4 17.4%	・過ごし部屋を仕切りをつかい個室スペースをつくることにより子どもが一人になりたい時使用できるようになっている	・どの職員も子どもに合わせた療育サービスを提供できるようにしていくことが課題
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	19 92.7%	4 17.5%	・日々記録を書くことにより、子どもに合った目標と振り返りを行っている ・療育前には、担任、非常勤職員を含め、情報共有を行い、同じ目標をもって子どもと関わることを意識できている。療育後には振り返りとして、その日のうまくいったことや難しかった点を話し合う時間が持てている	日々の業務をPDCAサイクルに沿って検討できてきているが、業務量の調整や休憩時間の確保など課題は残っている
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	21 91.3%	2 8.7%	・保護者の方の評価を確認しながら改善できることは改善している ・評価表以外にも振り返りシートや保護者勉強会アンケート、家族参観アンケートなど保護者の意見を聞く機会を設けながら、意見が上がったことに関しては都度対応する姿勢がある ・親子日の振り返りシートや面談等で把握に努めている。保護者の方の意向と子どもの状態とが合致しづらい時などは、丁寧な説明や段階に応じた取り組みを提案している	様々な形で保護者の方からのご意見やご意向を伺う機会を作り、業務改善に努めているが、職員全員への周知方法や検討の仕方について課題がある
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	19 92.7%	4 17.5%	・園長、主任と意見を伝えることができる風通しの良い職場だと思います ・経験や業務内容による小グループでのミーティングなどは職員の意見を聞く機会の一つになっている	グループ会議や経験や業務内容を加味したグループ分けによるミーティングなど、意見を吸い上げる機会を設けているが、十分ではない。業務改善や休憩時間の確保に課題がある
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	20 87%	3 13%	・毎日の朝のミーティングで改善できることは改善できるよう伝えられている	第三者評価は5年に1度行い、改善点を検討の上実施しているが、どの場で検討し、決定したことかの周知が十分でない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	19 92.7%	4 17.5%	・研修は豊富でとても勉強になる ・研修の機会が定期的にあるため、新鮮な気持ちで学ぶ時間があるので良いと思う	・経験や能力に応じた研修計画をたてることが課題 ・職員の研修希望の聞き取り方に課題がある
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	23 100%		・個別支援計画書をもとに保護者、多職種が適切な支援、必要な支援を行っていると思う	・児童発達支援管理責任者と直接支援担当者が相談しながら支援プログラムを決めているが、狙いや個別の課題設定に引き続き学びが必要

12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	21 91.3%	2 8.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画にそって、新しく用意するものや課題点について話す機会が多く保たれている ・個別支援計画書の作成のための指針がアセスメントの指標となり、共通の指標にしなから計画書の作成ができた ・個別支援計画作成のための指針があることで、職員間で一定の基準をもったアセスメントや表現に近づけることができつつあると思う 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画書を適切に作成することと共に、子どもや保護者のニーズ、状態のアセスメントの力についても学びが必要 ・個別支援計画書の作成から保護者への説明までのスケジュールの見直しが必要
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	22 95.7%	1 4.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・児発管のアドバイスを受けながら作成できている ・個別支援計画書作成のための指針がアセスメントの指標となり、共通の指標にしなからクラス担任と児童発達支援管理責任者が意見を交わし計画書の作成ができた ・園長、通園担当心理との共有の下、支援の検討をする場（クラスサポートやクラスカンファ）が持っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての職員が子どもへの支援、保護者支援がより適切にできるように研修の充実が課題 ・限りある時間の中で、支援について話し合い方や場の設定に課題がある
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	23 100%			<ul style="list-style-type: none"> ・計画書の共有はされているが、適切に支援が実施されていくためのサポート体制に引き続き工夫が必要
15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	22 95.7%	1 4.3%		<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントのための標準化したツールの検討が必要 ・支援目的をたてて支援方法を考える意識づくりに課題がある
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	23 100%		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方と面談をしながら、ご意見ご要望をできるだけ取り入れた上でその子にあった計画を提供している ・今回は支援計画作成のための指針があり、分かりやすかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインに沿った個別支援計画書作成についてより深く理解し取り組んでいく必要がある
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	17 72.9%	5 22.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・運動活動や制作など、クラス内で分担して準備している 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや家庭支援へのサポートだけでなくクラス運営へのサポートに課題がある
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	23 100%		<ul style="list-style-type: none"> ・固定化している方が子どもにとっては分かりやすいこともあるため、そのクラスの状態による ・子どもやクラスに合わせて、固定化して積み重ねを狙ったり、新たな活動を取り入れることで新たなスキル、興味につなげたり、適宜おこなわれている 	
19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	23 100%		<ul style="list-style-type: none"> ・親子日に書面を用いて集団や個別での目的を明確に記載し、実施している 	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	23 100%		<ul style="list-style-type: none"> ・担任だけでなく、クラスに入る職員とも情報共有をしてその日、子どもに合わせた支援ができるようになっている 	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	20 87%	3 13%	<ul style="list-style-type: none"> 療育終了後は各クラスでその日の振り返りを行い意見を言いあう 担任だけでなく、加配職員とも情報共有を次の機会に活かしている 	・業務改善のための継続的な検討が必要
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	22 95.7%	1 4.3%	<ul style="list-style-type: none"> 日々小さなことでも気づいたことは記録を取り、子どもの成長、支援を検証している 日々記録という形で残すようにしている 	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	22 95.7%	1 4.3%		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	22 95.7%	1 4.3%	・クラス担任や児童発達支援管理責任者等子どもに関わる職員が連携し合っている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	23 100%		・小学校や併用先の保育所や幼稚園等と連携して支援を行っている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	23 100%		・子どもの通っている幼稚園、保育園と連携を取り合っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	23 100%		・毎年、引継ぎを実施できている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	22 95.7%	1 4.3%	<ul style="list-style-type: none"> 見学等を積極的に受け入れ、情報共有を行っている 民間児発との電話での情報共有や個別支援計画書の共有が広がってきている 	様々な機関と連携を図り、情報交換や対応についての相談をしているが、それぞれの方針や体制の違いもあり、連携の難しさや支援のすり合わせ方に課題を感じる時がある
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	19 92.7%	4 17.5%	<ul style="list-style-type: none"> 他施設の方の話や外部研修等、参加できている センター内のセラピストとの連携により、介助方法や食事介助について教わる機会をとっている。保護者向け講座の共有も積極的に行っている。日々の登園人数が決まっており、日程が決まっている中での調整の難しさはあるが、引き続き、職員を外部研修に参加させる体制作りを検討していけるとよい 	経験値なども考慮した計画的な研修の実施が課題。また、外部研修の充実も課題
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	18 78.3%	5 21.7%		自身が携わっていない業務や会議の周知に課題がある
	31	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	13 56.5%	10 43.5%		保育所等訪問支援事業など、職員間の連携や交流の場はあるが、地域の子どものとの交流について検討が必要

	32	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	22 95.7%	1 4.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方の悩み、子どものご自宅での状況など常日頃話し合っている ・共通理解に繋がるように努めている ・親子日があることで、常に保護者の状態や課題を共有、把握することができている ・親子日に直接見て、話して共有したり、単独メモにて情報の共有を図っている。親子日での振り返りシートや面談等で保護者の捉えとのすり合わせも行って、「共通理解」が持てるように取り組んでいる 	通園で取り組んでいることの情報共有の仕方により工夫が必要
	33	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	22 95.7%	1 4.3%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者勉強会、あおば講座など勉強できる機会をつくっている 	
保護者への説明等	34	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	23 100%			
	35	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	23 100%			
	36	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	23 100%		<ul style="list-style-type: none"> ・担任や児童発達支援管理責任者と話し合いを重作成した支援計画書について、丁寧に説明を心がけているが、重要性が伝わらないと感じることがある ・面談のなかで丁寧に伝えており、保護者にとって伝わりやすい言葉で伝えている 	
	37	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	23 100%		<ul style="list-style-type: none"> ・施設内で話せない時は電話での相談等も随時行っている 	
	38	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	20 87%	3 13%		<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会については通園と保護者間で意見の相違があり、存続の有無について継続的な話し合いが必要。 ・保護者のニーズに合わせた交流の方法について検討が必要。
	39	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	22 95.7%	1 4.3%		
	40	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	21 91.3%	2 8.7%	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ内で随時発信している 	
	41	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	23 100%		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報のものはシュレッダーにかける等注意を心掛けている 	
	42	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	23 100%		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもには端的に短い言葉でわかりやすく伝えるようにしている 	
43	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	14 60.9%	9 39.1%		感染対策を講じながらの地域交流の推進について検討が必要	

非常時等の対応	44	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	21 91.3%	2 8.7%	・月に一回、防災訓練避難訓練を行っている	周知の方法、周知回数、マニュアルの保管方法や保管場所の検討が必要
	45	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	22 95.7%	1 4.3%		
	46	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	23 100%		・てんかんのある子どもは、てんかんの様子を動画で確認をして、すぐに対応できるようにしている	
	47	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	23 100%			
	48	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	23 100%			
	49	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	22 95.7%	1 4.3%	・緊急時にはご連絡する旨お伝えして連絡先を確認している	周知はしているが、回数やマニュアルの保管方法や保管場所について検討が必要
	50	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	23 100%		・インシデント報告をした上で、これからの対応策を事業所内で共有している ・終礼、朝礼時にインシデント報告と改善策を共有報告する時間が設定されている	
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	23 100%			
52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	23 100%		・状況を書面にて記載報告をしている		

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 地域療育センターあおほ道園

公表日 2025年 3月 21日

利用児童数 104名

回収数 92 (17番のみ101名の回答)

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	78 82.6%	15 16.3%	1 1.1%	なし	<p>①親子登園の際、おもちゃスペースで親子で一緒に遊ぶのは少しスペースが狭いかと思えます。</p> <p>①限りあるスペースだからしょうがないが、正直、雨の日などのプレイルーム、スヌーズレンは混雑が著しく、子ども同士が衝突していないのが、奇跡なくらい不思議な時がある。</p> <p>①プレイルームなどで他のクラスとかぶるとぶつかりたりして危険な気がする</p> <p>①プレイルームで複数のクラスが共有する時など、子どもたちがぶつかりそうだなと思う時があります。</p> <p>①雨の日はどうしてもスヌーズレン、プレイルームが狭くなりがちで、ぶつからないか心配でした。</p> <p>①各教室は保育人数に対してとても広くスペースが確保されていると思えます。プレイルームやスヌーズレン等は一度に利用する人数が多い時があり、ぶつかりたり怪我をしたりしないかヒヤッとする時があります。天候の関係で園庭に出られない日などは仕方ない事は承知していますが、先生の数も多いので安心だとは思いますが、その点が少し気になりました。</p> <p>①プレイルームやスヌーズレンで他のクラスと比べると、子ども同士がぶつかったり、怪我の心配がある。時間が経つのは仕方ないことも理解出来るが、3クラス以上重なるのはなるべく回避して欲しい。</p> <p>①スヌーズレンやプレイルームに沢山人がいて危ないと感じる時があります</p> <p>①時間が経たないように工夫しているのは感じるが、他クラスと比べてしまった時は怪我をする可能性が高まっていると感じる。</p> <p>①親子日に全員揃うと少し部屋が狭いと感じる時があります。</p> <p>①プレイルームのトランポリンは、子どもが自分で身体の動きを制御しにくいと思うので、人数が多い時はお友達にぶつからないか心配になります。</p> <p>①おもちゃコーナーに行きたがらないので、遊ぶスペースがわかりやすくあればと思います。</p> <p>②園庭のブランコのスペース。柵がないので、ぶつかりそうで怖い。</p> <p>③教室以外にもプレイルーム、スヌーズレン、園庭等活動に合わせて体を動かせるスペースがありとても思っています。</p> <p>③沢山の活動の場所、そして沢山のご配慮がなされた安全の場で安心して遊わせておられます。</p> <p>③広々としたスペースで沢山体力を使って毎回楽しそうに遊んでいて、中々そのように遊べる所がないのでありがたいです。</p> <p>③息子がコロコロ転がって遊べるスペースが確保されている。</p> <p>③プレイルームのトランポリンでは安全面を第一に見守りながら遊ばせてくれていて、子供が伸び伸びと遊べていました。</p> <p>③遊具の入れ替え等、色々とお苦勞があるかと思えます。ありがとうございます！</p>	<p>① おもちゃコーナーやスヌーズレン、プレイルームなどの共有スペースにつきましては、一度に使用するクラス数を制限し、重ならないよう配慮しております。また、月ごとに見直しや再調整を行い、安全かつ快適にご利用いただけるよう努めております。しかしながら、年度初めの調整が十分に行き届かない時期や、クラスの流れが通常と異なる場合には、混雑や煩雑さが生じることがございます。その際には、その場にいる職員同士が連携を取り、流れを変更するなどして、お子さんが安全に遊べる環境を確保しています。また、雨天時や気温の高い日など、園庭が使用できない状況では、共有スペースの混雑が避けられないこともございます。そのため、使用時間や人数の調整に加え、各クラスのお部屋でも楽しく過ごせる工夫を引き続き検討し、安心して過ごしていただける環境づくりに努めてまいります</p> <p>② 園庭の安全性を高めるため、ヒヤリハットマップを作成し、職員や保護者の皆さまに周知を行うことで、安全な使用方法を共有しております。また、ブランコの後ろ側を越えないルールを設け、前方の確認を徹底することで、衝突などの事故を防ぐよう努めておりましたが、不安を感じさせてしまい申し訳ありません。今後も安心・安全に園庭遊びができるよう、遊びの時間帯に応じて、ブランコ周辺の見守りを強化するなどの対策と工夫を考えてまいります</p> <p>③ お子さんがプレイルームやスヌーズレン、園庭などのさまざまな環境で、のびのびと楽しく過ごしている様子を感じていただけています。ご意見をいただきました。週園ではお子さんが安心して過ごせる環境を整えるため、基本の職員配置に加え、1日平均3名の非常勤を雇用しております。また、地域の方にボランティアをお願いし、クラスやお子さんの支援のお手伝いをしていただいております。活動の内容やクラスの状況に応じて柔軟に配置を調整し、安全に適切な支援を行えるよう努めておりますが、ご不安を感じさせてしまい申し訳ありません。今後も現状の人員体制の中で、さらに安全で丁寧な支援が行き届くよう、環境調整の工夫や、職員同士の連携をより強化することで全体の見守りを充実させていくこと、加配職員をより必要な時間・場面に配置できるように見直しを行ってまいります。</p>
2 職員配置数は適切であると思いますか。	83 90.2%	7 7.6%	2 2.2%	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス人数にもよるが、あと1~2人多いといふ先生方の負担は違うと思います。 ・もう1人いてくださったと思うことはたまにあります。 ・法律、制度上は適切かもしれないが、サービスを提供する職員の方々には、子どものためにも余裕、ゆとりをもって働ける環境であってほしい。 ・たまにみんなの動きが激しくて、先生2人で大丈夫かな？って時があります。 ・サポートの先生がもっと必要な気がする。目が届いてない場面がある。 ・親子日でない時は、やはり少し足りてないと思う時があります ・親子日の日は保護者がいるが他クラスの子を見ている先生は、子ども3人に対して1人だったりすることもあるので手のかかる子メインにみる為、おとなしい子は1人づつになってしまっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・クラスの状況に合わせて配慮していただけてありがたいです。 ・親子日以外だと担任の先生2人だけでなくフォローの先生も入っているのを見たから ・担任の先生お二人、プラス他の先生も入ってくださる事が殆どの方です。とても十分であると思います。 ・補助の先生もいらっやあって安心して預けられています。 ・思いがけないことがあっても、先生方の連携が取れていて、不安を感じることは少なかったです。 ・手厚く人員を確保していただけて有り難いです。 ・1クラスに2担任、状況に応じてサポートも入ってくれるので適切と感じる。 ・療育では普通の幼稚園や保育所に比べ、対応が更に大変かと察します。頑張られているかと思えます。 ・安心して預ける事ができます。 	<p>人員体制について「必要に応じて職員を配置してあり安心している」というお声いただく一方で、「もう少し人手があると安心」「状況によっては目が行き届かない場面があるので」というご意見もいただきました。週園ではお子さんが安心して過ごせる環境を整えるため、基本の職員配置に加え、1日平均3名の非常勤を雇用しております。また、地域の方にボランティアをお願いし、クラスやお子さんの支援のお手伝いをしていただいております。活動の内容やクラスの状況に応じて柔軟に配置を調整し、安全に適切な支援を行えるよう努めておりますが、ご不安を感じさせてしまい申し訳ありません。今後も現状の人員体制の中で、さらに安全で丁寧な支援が行き届くよう、環境調整の工夫や、職員同士の連携をより強化することで全体の見守りを充実させていくこと、加配職員をより必要な時間・場面に配置できるように見直しを行ってまいります。</p>

環境・体制整備

3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じた、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	91 98.9%	1 1.1%	なし	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・仕切りの段ボールをもう少し強いものにしてもらえらるともっと良いと思います。 ・通園の子供達は、十人十色なので、全子供に個々に合わせる事は、困難かと思えます。 ・遊ぶ部屋、課題をする場所等わかりやすくなっていると思います。 ・施設のハード面で踏まない部分は職員の方々の工夫で十分以上に補っている。(掲示など) ・絵カードはもちろ子どもやりやすい方法や環境を先生が時と状況を見ながら試みていると感じる ・とても分かりやすく配置されていて、素晴らしい環境だと思えます ・十分分かりやすくなっています。 ・色々なものが分かりやすく整頓できていて、その場に必要なものはしっかりと隠すことができている集中しやすくなっていいとおもいます。 ・活動に集中しやすいように工夫されていると思えます。 	空間を仕切るパーテーションが使用を重ねる中で固定が緩んでしまうことがありました。安全面を考慮し、怪我につながるのではないよう、引き続き日々の環境整備や安全点検を徹底してまいります。また、空間の使い方や区切りが、お子さんにとって分かりやすい環境づくりに役立っているというご意見を大切に、今後よりお子さんに合った環境づくりに努めてまいります。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	85 92.4%	6 6.5%	1 1.1%	なし	<p>①トイレの手洗い場の前が良く濡れている。子供が使った水が垂れるのは仕方ないので、親や先生たちで気が付いたらささっと拭くようにしたら良いと思います。</p> <p>②冬は床暖房があると聞きましたが廊下やトイレなどはどうでしょうか？活動の中で移動することが多く子供たちは裸足なのでこれから寒いのではないかと少し心配です。トイレは手洗い場の床がいつも濡れているのも気になります。ささっと拭いてはいますが乾下が濡れてしまうことも多々あり、子供たちは裸足なので濡れて冷たいこともあるのではないかと思います。</p> <p>③生活空間は清潔かつ心地よいが、破れた網戸が長期間放置されていたり(大きな相模だから、業者の手配にも複雑な手続き、決済等が必要で当日すぐに手配とも行かないだろうが)、外部下から見た窓が泥だらけだったり上記の設備でもあったが、職員さんに余裕がないだろうかと納得して流している部分もあるのが残念。後所の施設だから、簡単に修繕、清掃はできないのだろうか、そこは、もう少し園長や役員者に小規模な仮払いなどの権限を与えるべきでは？と思うこともある。また、言われなくても勝手にやってくれそうな父親をうまく手のひらで転がして良いのでは？(小さな相模なら簡単にできるが)と思う時があります。</p> <p>④おもちゃの電池がいつも切れたままになっている。チェックしていないのか</p> <p>⑤ほどほどには綺麗だと思えます。</p> <p>⑥いつも綺麗で、子供も安心できる楽しい場となっていると思います。</p> <p>⑦毎回とても清潔に保たれていて子どもも心地良さそうです。</p> <p>⑧トイレも廊下も綺麗で過ごしやすいと思います。</p> <p>⑨良く頑張られているかと思えます。</p> <p>⑩ごみや埃がなく、いつも清潔で有難いです。</p>	<p>①-③ 通園の環境や清掃面について貴重なご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>トイレの手洗い場の床が濡れていることについて、ご心配の声をいただきました。使用による水はねが多いということをご念頭に、職員によるこまめな拭き取りを徹底してまいります。また、必要に応じて吸水マットの設置を検討するなど、より快適にご利用いただけるよう工夫してまいります。あわせて、冬の寒さへのご心配についてもお声をいただきました。通園では一部スペースに床暖房を設置しておりますが、廊下などの移動スペースには設置がないため、寒さを感じることがないように、引き続き空調の調整等、足元の冷えを防ぐ工夫を行ってまいります。</p> <p>また、施設の修繕や清掃についてもご意見をいただきました。日常的な清掃は注意を払って行うように努めておりますが、網戸や窓の清掃がいき届いておらず申し訳ありません。定期的な点検と計画的な修繕に努めてまいります。</p> <p>④ おもちゃの電池切れについてのご指摘をいただきました。今後は定期的な点検で電池交換を行い、お子さんがより楽しく遊べる環境を維持してまいります。</p> <p>⑤-⑩ 「いつも綺麗で安心できる」「子どもが快適に過ごせる環境」との温かいお言葉も多くいただき、励みになっております。今後も、安全で清潔な環境を維持できるよう努力してまいります。</p>
5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	83 90.2%	7 7.6%	なし	2 2.2%	<p>①ほぼ満足して感謝をしているが、賢況を言えば、今、その時だけでなく、大人になった時の事も想像しながら、適量の情を注いり、未来の課題になりそうな芽(リスク)を軽減して頂けたらと思います。</p> <p>②皆違う人間対人間なので、やはり個人差・個性差が生じる事は実際にあるし、ある程度は仕方がない事かと考えます。</p> <p>③日々のプログラムが何のためにどんな機能を発達させる目的かが不明の単発的なアクションに見えるので全体像が見えない。どういったプログラムがあって、その中の部分を行っているのか示す一覧表などを見せてほしい。そうでなければ親が理解できない。支援されている実感がまいち深く感じられない。背景の大部分がこういったことである※項目6~10にも該当</p> <p>④全体で同じ事をやる事が多く、個別の能力に合わせたプログラムが弱い印象です。</p> <p>⑤とても専門性が高く、知識も豊富で個々に合った教育を受けられていると思えます。</p> <p>⑥子供のことをとても丁寧にみてくれていてアドバイスなどももらえてとてもありがたい。</p> <p>⑦それぞれの子供に対して、出来ることをやっているとします。</p> <p>⑧先生方が子どもの特性をよく理解し、子どもの成長や困りごとに応じた、その時に必要な支援を考えてくださっていると感じます</p> <p>⑨手順表や一日の流れが視覚化されていて、子どもたちがスムーズに活動できるように配慮されていると思えます。</p> <p>⑩何のご質問にも即答していただいておりますので、十分受けられていると思えます。</p> <p>⑪十分支援が受けられていると思えます。</p> <p>⑫親よりもよくみてくださり、困り事に関しての先生の引き出しが多くてたくさん勉強させていただきました。</p> <p>⑬担任の先生から子供の成長に合わせた支援方法を提示して下さるのでとても有り難いです。</p> <p>⑭粘り強く時間をかけて子供に対応してもらっています。</p>	<p>① お子さんの現在の成長を支えることはもちろんのこと、将来を見据えた支援も大切にしていかなければならないと考えております。お子さん一人ひとりの特性や個性を尊重しながら、日々の関わりの中で適切な支援や関わりを保護者の方と一緒に考えていきたいと思っております。</p> <p>② 一人ひとりに合わせた関わりや支援を提供したいと考えております。個々に必要な支援を引き続き、考えていきたいと思っておりますので、ご意見やご不明点は遠慮なくお知らせください。</p> <p>③-④ 通園では、活動の中で個々の発達段階に応じた関わりを取り入れながら支援を行っておりますが、その目的や意図をより分かりやすい形でご説明する必要があると改めて感じております。今年度末までに各プログラムの目的やねらいを整理し、ホームページに掲載いたします。親子日でも統一の書式をもとに、説明や振り返りする時間を十分分け、保護者の方にも分かりやすい形で共有できるように取り組んでまいります。</p> <p>また通園では、小集団教育を基本としながらも、一人ひとりの特性やクラスの状況に応じて、集団での活動と個別性の高い活動をクラスごとに設定しています。活動(プログラム)が集団教育を担いとしていても、その他の場面では個別支援計画に基づき、個別の支援を実施しております。今後、クラスや個別の目的を保護者の方と十分に共有しながらクラスを運営してまいります。</p> <p>⑤-⑭ 引き続き、一人ひとりに寄り添ったより良い支援が提供できるよう努めてまいります。</p>

6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	85 92.4%	6 6.5%	なし	1 1.1%	<ul style="list-style-type: none"> ・合っていると思います。 ・HPのどこに書いてあるのかわからないため通園の重要事項説明の際の内容で判断しました ・ほぼほぼ合っているのではないかと、思います。 	令和6年の児童発達支援ガイドライン改定に伴い、通園で行う教育の目的や領域に沿った活動について『支援プログラム』として公表することになり、準備を進めてまいりました。今年度末までにはセンターのホームページに掲載いたします。支援プログラムに掲載する内容は、しおりや首段の療育で説明し実施していることと同様と考えております。公表の際にはお知らせいたしますので、内容をご確認いただき、ご意見ご指摘をいただけたらと思います。
7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	88 95.7%	4 4.3%	なし	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・個人のニーズというよりはクラスのみならずでできるようになってほしいことという感じがします。 ・担当する支援者の方々は、正当で真つ当な個別化された標準を提供しているのは、十分にわかるが、受け取る側が屈辱で少し偏りがちで特殊な部分もあるので、支援計画を見ると「そっちじゃないんだよねあ〜」「うちの子じゃなく、同じクラスの〇〇君の計画書じゃない?」「先生の都合?」と思いたくなる時もある。先生が方の生活もあるから、これ以上は言わない事と決め、あきらめ、せめて骨折以上のケガ、事故が無ければいいで割り切っている。 ・こちら視側も、全てを堰け出して本音で取り組まなければならないので、難しいのかな、とは思います。 ・個別面談や日頃の子ども様子から適切な支援計画が立てられています。 ・とても子供のことを理解し、よく熟考された支援計画だと思えます ・うちの子にあった個別支援計画を毎回作成していただけています。 ・時間をかけて面談してくださり、親の困りごとも含めて考えていただけています。 ・現時点で出来ること、課題が明確化されており、的確な支援計画が作成されていると思えます。 ・細かく支援計画を作っていたらいいと思います。 ・知的クラスにも週1クラスがあればよかったです 	支援計画について、期待される内容と異なる部分があるのご意見をいただきました。計画作成の際には、日々の療育をもとにお子さんの成長に必要な支援を検討しておりますが、今後も保護者の方のご意見もしっかりと反映できるよう、親子日や日々のやり取りの中で、保護者の方との連携を大切にしていきたいと思っています。 多くの方から「子どものことを理解し、適切な支援計画を立てられている」というご評価をいただき、大変ありがたく思います。今度も支援計画書の質を高めていけるようにしていきます。
8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	86 93.5%	4 4.3%	1 1.1%	1 1.1%	<ul style="list-style-type: none"> ・適切なのは正直わかりません。 ・その程度の支援で家族支援と言い切り実績に1立てて大丈夫かと思う時がある。川時だったら監査でひっきり、返戻で割り増しでお金返すよなこれと余計な心配をしよう。 ・移行支援に関しては、説明している職員の方が十分に理解しないまま説明を行っている箇所があると思います。実態はどうなのか、頼りて見て説明していただければ嬉しいです。 ・とてもまざれていると思えます。 ・ほぼほぼ、そうかな、と思えます。 ・課題に対するアプローチの仕方まで的確に設定されていると思えます。 	令和6年の児童発達支援ガイドライン改定に伴い、新たに「本人支援」「移行支援」「家族支援」等の項目を明確に分けた支援計画書の作成が求められるようになりました。改定から間もないこともあり、現場としても試行錯誤を重ねながら対応を進めておりますが、十分に整備しきれていない点があることも事実です。また、ガイドラインの詳細な周知や職員間の共通認識が行き届くまでに時間がかかっている点についても、課題として認識し、保護者の方にも分かりやすく適切にご説明できるように努めてまいります。
9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	87 94.5%	4 4.3%	なし	1 1.1%	<ul style="list-style-type: none"> ・本人に即したと同時に無理の無い職員にも即した物だから、逆に沿ってなかったら問題だと思う。 ・きちんとなされていると思えます。 ・ほぼほぼ、そう思います。 ・とても熱心に思いやりをもって取り組んでいただいていると思えます。 	引き続き、一人ひとりに合わせた支援計画をご本人、ご家族、関係者で相談、検討しながら作成し、計画に沿ったサービスが提供できるように取り組んでまいります。
10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	81 88%	8 8.7%	1 1.1%	2 2.2%	<ul style="list-style-type: none"> ・色々なことが体験できていると思えます。 ・座って手先を使う活動、体を大きく動かす活動、1人で行うもの、友達と協力するもの等様々な活動があってバランスよくプログラムが組まれていると思えます。 ・息子の能力の程度が低いからしょうがないが、使いまわしの2番煎じを2年目の周回中。羽来の生きづらさ解消や同じ世代の当事者が持ち合わせる事になるだろうトレンド的なコモンセンス(共通の知草、動作、表現、暗黙の了解など)の習得を望んでしまう。 ・毎回、いろんなよく考えられたプログラムを出していただき、有難い限りです。 ・ルーチンとして安定はするとは思いますが、真新しい取り組みなどは少ないと感じます。もっと臨への刺激がほしいです。 ・色々なプログラム、家では実践しにくいプログラムをやっていた、ありがたいです。 ・繰り返し活動の大切さもあるので、現状のプログラムでも概ね満足しているが、雨の日で園庭が使えない=スライム、猛暑日は水遊び、上記の活動が毎回続いた時は、子供自身が若干飽きている雰囲気を出していた。 ・色々工夫されているのだな、と思えます。 ・季節に応じたプログラムなども取り入れてくださり、毎日楽しく通園できていると思えます。 	多くの方に活動の工夫について好評いただきありがたく感じています。 繰り返し取り組むことで、お子さんが見直しをもって能動的に行動できる部分を増やしていくとともに、興味を持って取り組めることを増やしていただけるよう取り組んでいます。同じ活動を繰り返す中で、お子さんの変化、成長を担っていることもあります。何を狙って活動プログラムを組んでいるのか、お子さんの成長を共有できるように丁寧な説明を心掛けてまいります。 また、活動を通じて人と過ごすことの心地よさや信頼関係を築く経験につながるようと考えております。ただ、限られたスペースで取り組んでいるため、工夫の感じにくさがあり申し訳ありません。引き続き、お子さんたちの興味を探り、自身の力を発揮できるように活動内容の工夫に努めるとともに、保護者の方のご期待に添えるように活動内容の検討を進めてまいります。

11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	43 46.7%	17 18.5%	21 22.8%	11 12%	<ul style="list-style-type: none"> ・逆に普通の子どもとは、共存できないので、いない場所、いない時間を考えながら、普通の子を避けて、関わらないようにせざるを得ない。(インクルーシブ=綺麗ごと、理解がない人間とは一生分り合えない、交流する事自体がこちら側にとって危険で傷つけられる事しかない→実際に仕事で土日祝に知的、精神障害者の外出ヘルパーとして当事者を連れて地域に出た時に散々、健常者から悪意に満ちた嫌悪を向けられていたから言える話。子どもならなおさらストレートにえぐってくる) ・週2の通園だと子ども同士の交流というより、担任の先生が保育園(幼稚園)訪問といったかんじなのかなと思います。 ・実際そのような交流は今のところ受けておりませんが、幼稚園との連携をはかってくださる事は存じ上げております。 ・幼稚園への訪問をしていただき様子を見て的確なアドバイスを幼稚園の担任にてもらえたことで困り事への対応の仕方がわかり助かりました。 ・これはなかなか難しい問題なのかな?と思います。連携とかは、 ・他の施設との併用はないため、このような機会は特にありません。 ・あおばでそのような機会は無い 	<p>保育所や認定こども園、幼稚園や地域の方との交流の機会は通園としてもセンターとしても非常に少ない状況です。あおばのことを知ってもらうために、数年に1度、黒須田小学校の児童にスライドを使ってあおばを紹介したり、地域に働きかけてボランティアに来ていただいているのが現状です。新型コロナウイルスの影響で2019年度まで実施していたあおば祭りも現在中止しております。</p> <p>今後、通園やセンターを広く知っていただくための広報活動や、地域との交流の仕方について検討してまいります。また、あおばに通うお子さんやご家族が安心して地域で暮らしていけるように、保育所や幼稚園など、地域との連携の強化を図ってまいります。</p>
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	90 97.8%	2 2.2%	なし	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧で解りやすいので、逆にそのコツを教えてくださいたいくらいです。(特に園長) ・園長先生や担任の先生から受けております。 ・説明は聞いたと思います。 ①丁寧な説明はあれど、支援プログラムの全体像や年間通じた実施時期などは不明 	<p>支援プログラムに関しましては、今年度未だにホームページに公開いたします。</p> <p>① ご意見ありがとうございます。今年度後半より支援目標を「5領域」に沿ってご提案しております。それぞれの領域について、どうステップを踏んでいくのか、より丁寧でわかりやすく説明できるように努めてまいります。</p>
13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	91 98.9%	1 1.1%	なし	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・面談の時にとても丁寧な説明をしていただいております。 ・その様に思います。 	<p>今後もお子さんの様子に合わせて計画書を作成し、保護者の方に丁寧に説明できるように努めてまいります。</p>
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	85 92.4%	6 6.5%	1 1.1%	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアトレの講座をやって欲しい。 ①学習会は定期的開催されているが、昨年の使いまわしで目新しい物は無い。 ・保護者勉強会が頻繁に行われており、沢山学ばせていただいております。 ・大変勉強になり助かっております。 ・定期的に勉強会を開催して下さるのでとても勉強になります。内容も興味深いものが多く毎回参加するのが楽しみです。 ・今年から通園利用を始めたので、勉強会が定期的開催される有り難みもあれば、あれこれ情報が流れ込んできて頭の中の整理が追いつかない感もある。 ・実際には、なかなか難しいかと思えます。 ・民間の児童発達支援事業所では保護者の学びの場が少ないので、勉強会や先生からの振り返りの時間はとても勉強になります。 	<p>保護者勉強会や親子日を通じて、情報共有やお子さんとの関わり方をお伝えしております。今後も内容の検討を進めるだけでなく、新たな情報提供の場として活用してまいります。</p> <p>① 勉強会につきましては、入園時、就学時、全員に聞いていただきたいことなど、テーマや対象を年度毎に検討して内容を決定しております。例年クラス毎に内容を検討し、実施している『クラス保護者会』も開催しております。制度の改正など、時代の流れに遅れをとらないように常に情報を更新しながら、今後も勉強会の企画をしてまいります。</p>
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	89 96.7%	2 2.2%	なし	1 1.1%	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼほどにはできていると思います。 ・医師や看護師、医療職が常駐する組織なので、その点がうまく機能し共通理解が進んでいると思う。逆にこちらが看護師さんに話をして、看護師さんがかみ砕いて現場の職員に伝えて下さる場面もあったので、その点は非常にありがたかった。 ・毎週の親子日や、お電話でお話していただいております。 ①単独ファイルの内容だけでは、通園で過ごす様子はつかみにくいかと思います。2時間程度あずける発達のメモは毎回ぎっしり書いてもらっているため、取り組んだ様子がわかり、そのキャッチは大きいです。 ・担任の先生が子供の様子を毎回細かく教えて下さるので、情報を常に共有できていると思います。 ・その態度様子を伝えたり、できる事が増えていることを教えていただいたりコミュニケーションが取れています。 ・担任の先生にいつも本当に救われています。 ・日々の様子は、良く伝えて頂いている、と思えます。 	<p>センターには医師を始め、心理師、ソーシャルワーカー等の専門職がおります。今後も連携をとりながら、共通理解をもち、お子さんやご家族の支援に努めてまいります。</p> <p>① 単独メモファイルはその日の健康状態の確認と、ご家庭、通園の特記事項の記載と考えております。療育中に何かお知らせが必要な状況が発生した場合は療育後こちらからご連絡させていただきます。また、お子さんの様子や対応のご相談などは親子日や面談を活用していきたいと考えております。様子についてご不明な点やお知りになりたいことがありましたらぜひお声がけください。</p>
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	89 96.7%	3 3.3%	なし	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の面談や親子日に助言等いただいております。 ・色々な悩みを聞いていただき、アドバイスをしてもらい、ありがたく思っています。 ・単独メモや親子日の中で相談させてもらって、アドバイスをいただいております。 ・そう思います。 ・日頃から困った時に相談しやすい環境をつくってくれていてありがたいです。 ・もう少し回数を増やしてもらえると良いなあと思えます。 ・担任や副担任からの、あくまでその時々々の現場レベルでの助言や支援はその都度もらえている 	<p>面談や親子日を通じて、クラスのごとだけでなく、ご家庭、併用先といったことを鑑み、支援についてお伝えできるようにより一層努力してまいります。</p> <p>年4回の定期面談を相んでおりますが、必要に応じて臨時に面談を実施することも可能です。じっくりお話をしたい時、緊急で共有したい情報があるといった時は、担任にお声がけください。こちらからも臨時の面談を提案させていただくこともあります。</p>

17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	95 94.1%	5 5%	なし	1 0.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・沢山相談にのって頂き感謝しかありません。 ・毎回とても丁寧なご説明や子供への接し方など教えていただき、感謝でいっぱいです。 ・子どもも保護者もいつも温かく支援していただき大変ありがたく思っております。これからも困ったことがあったときに、相談に乗っていただければと思います。 ・いつも温かく寄り添っていただいて、心強いです。子供、親のことをよく考えた上での支援をしてくださっていると思います。 ・マスコットとしては、かわいがられているようで親としても安心ですが、大人になってその感情が得られなくなる時が必ず来るので、それを得られなくなって苦しみ自作自演を繰り返している困った大人になった当事者を何人も見ているから、一概にも言えない ・とてまされていると思います。 ・担任の先生は勿論、園長先生や補助の先生、職員のみならずから温かく支援していただいていると思います。 ・そう思いますし、職員の方の視点で支援していただけるのも有難い ・そう思います。 ・どの先生方も温かく思いやりを持って子供、親にも接してくださっていると思います。 	<p>面談や親子日を通して、クラスのごとだけでなく、ご家庭、併用先といったことを鑑みて、支援についてお伝えできるようにより一層努力してまいります。</p> <p>年4回の定期面談を組んでおりますが、必要に応じて臨時に面談を実施することも可能です。じっくりお話をしたい時、緊急で共有した情報があるといった時は、担任にお声がけください。こちらからも臨時の面談を提案させていただきます。</p>
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	44 47.8%	28 30.4%	8 8.7%	12 13%	<p>①きょうだい向けのイベントは開催されてないです。</p> <p>①保護者同士の交流の機会は多々あるが、きょうだい向けの支援は特に受けていません。</p> <p>②近年は保護者も忙しくなかなか時間がないので、難しいとは思いますが、保護者会等交流の場がないので、クラスの保護者しか交流を取れないのが少し寂しく感じます。同じ地区であれば通っている御家庭等知り合う機会があればうれしいなと思います。</p> <p>③孤立しがちな当事者だから、ピア活動大賛成だが、たぶん、コロナだからしょうがないで、私たちが在籍中は無いだろうと思っておりません。いなくなつてから大きく広がり発展するんだろくらいです。</p> <p>①兄弟向けのイベントに関してはよくわからない</p> <p>・これから(12月)行われるので「どちらともいえない」にしました。</p> <p>・毎回お昼休憩の時に、他の保護者さんと情報共有させていただいたり、クラス保護者会があり、支援されております。</p> <p>①きょうだい向けのイベントとは？</p> <p>①きょうだいへはよくわかりません。</p> <p>①きょうだい児向けのイベントや支援はまだまだない気がします。切望しています。</p> <p>①②同じクラスの保護者同士の交流はあるが、全体的な交流会は無いと思う。きょうだい向けのイベントも、あれば興味があるが、参加したことがない。</p> <p>・そう思います。</p> <p>①きょうだい向けのイベントはありません。</p> <p>①②親子日に昼食時間を共に過ごす以外の交流はない、きょうだいへの支援はないです。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>① 2024年度前半までは通園を利用されるお子さんのきょうだい児預かりは地域のボランティアにお預かってまいりました。2024年度後半は横浜市からきょうだい児預かりの予算がついたことにより、きょうだい児にも安心安全で経験を保障できる人と場の確保ができる運びとなりました。運営をNPO法人に委託したため、内容についても一任しておりますが、協働で実施できることはないかと、協議を重ねてまいります。</p> <p>② 多くのご家庭が様々な事情で時間のやりくりを工夫して利用されていると思います。その中で毎週の親子日にご参加いただきありがとうございます。親子日はクラスでお子さんの様子や対応を知っていただく機会に加え、お昼の時間に会議室、家族室等でクラスの保護者との交流の機会にしていただけたらと思います。他クラスの保護者交流につきましては、今後検討してまいります。</p>
19	子どもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	87 94.6%	3 3.3%	1 1.1%	1 1.1%	<p>①組織のヒエラルキーや組織の中にソーシャルワーカーが居て、独立性が無いので、計画相談員が弱すぎる。通園以外の他社の計画相談員は常に利用者の味方で、支援者会議等でサービス提供に携わる事業所やそのスタッフに不手際があると、生きている事を後悔するくらいに、その不手際スタッフや事象に対し牙を向くが、こちらの相談支援員は身内が怖いか利用者の味方にならず、支援に携わる不手際を起こしたクレーム対象の専門職スタッフの方に輪足を置くかまた、昼休憩中の他の保護者の方との話し合いの中で、相談員の知識不足による間違った説明のため、選択肢がまるまる一つ吹き飛んでしまっていたお母さんがいたのには驚きを通り越して、ため息しか出ない。</p> <p>・今年度始めから、私(母)が病気を患ってしまっておりますが、その対応を申し訳ない程していただいております。</p> <p>②保護者によって、担任の先生が個人的に話す時間が大幅に異なるように思います。</p> <p>・児童発達支援事業所を探していた時担当のソーシャルワーカーさんに子供に合いそうな事業所を教えてください、今は楽しく通えています。</p> <p>・そう思います。</p> <p>・気軽に相談できて、孤立せずに助かっています。</p> <p>③一生懸命対応されている様子はよく理解できるが、いまいちこちらの意図をくめてない様でかみあわない場合が多いと感じる(◎にも該当)</p> <p>・歯磨きをお願いしたいとお伝えしました際、検討します、感染対策上、今は対応出来ない4月に返答あり、園全体としてどのように検討されたのか、いつ、どの職員と、どんな形で行われるのか、半年以上待ちますが何のお返事はないのとはとても残念です。歯科検診公費でつく程、歯の健康は大事だと思います。ですし、どういった形で検討して下さるのか、別に知らせる必要もないといった、あのプライドに傷がついたような態度を取られたことは忘れられません。一緒に子どもの健康について、寄り添う形で考えていただきたいと思います。</p>	<p>① ご意見ありがとうございます。計画相談支援事業所が同センター内にあることで分かりやすい体制となっております。その中で独立性を担保しながら役割を果たしていけるよう努めてまいります。併せて、研修等を通じて相談対応にあたる職員員の知識、技術のレベルアップに努めてまいります。</p> <p>② 対応についてご不快な思いをさせてしまい、申し訳ございません。内容によってお話する時間の長さは変わることもあるかもしれませんが、皆さんからのご相談やこちらからのお話について、常に真摯に向き合い、安心してお話ができるように職員員の指導に努めてまいります。</p> <p>③研修や日々の療育の中で、療育技術だけでなく、コミュニケーション力も向上していくように指導してまいります。</p>
20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	87 94.6%	5 5.4%	なし	なし	<ul style="list-style-type: none"> ・理解力に難がある家族がいる事を伝えると、難が無い自分にまで1から10を繰り返して20くらいまで、丁寧に伝達していた。(某役職者) ・毎週の親子日に先生と話をする時間を設けていただき、また子供の話もよく聞いてくださっているようです。 ・そう思います。 	<p>引き続き、多くの方にわかりやすく、情報の誤差がなく伝わるように伝え方の工夫をしてまいります。</p>

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	77 83.7%	5 5.4%	1 1.1%	9 9.8%	・発信されています。 ・そう思います。	毎年、事業所自己評価はホームページに掲載しております。また、クラスだよりや園だより等にて活動や行事について発信しております。足りないと感じる情報等がありましたら園長や主任、担任までお声をください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	88 95.7%	3 3.3%	なし	1 1.1%	・個人情報の漏れなどは今まで一回も聞いたことがありませんので、とても留意されていると思います。 ・そう思います。	今後も個人情報の扱いについて十分に注意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	73 79.3%	13 14.1%	3 3.3%	3 3.3%	・何かが起きた時(感染力が強い病など)、しおりを見返せば対応がわかる仕組みになっているので、助かります。 ・マニュアルの説明を受けたかどうかは覚えていない ・園長先生や担任の先生からお話があったり、避難訓練も年に数回やっていたいております。 ・子供単独日での避難訓練があるので子供にとっては良いと思います 保護者同伴での避難訓練があれば障害を待たず子の避難の対応がしやすくなるかもしれません。その他マニュアルは一度の説明では忘れてしまっていることも多くいざと言うときに資料を見返してとはならず、上期下期などで簡単な説明また資料配布があるとより認識されると思います。 ・そう思います。 ・周知されているとは思えない	マニュアルの説明や確認は一度でなく、保護者会などを利用し、確認する場を複数回設けていくようにいたします。防犯や災害、事故防止マニュアルにつきましては、保護者の方がセンター内で確認できるような保管方法を検討してまいります。緊急時対応、感染症対策マニュアルにつきましては、通園のしおりをご確認ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	82 89.1%	7 7.6%	1 1.1%	2 2.2%	・防災訓練は行われているようだが、話を聞くだけで実際やってみる姿を見たことがない。 ・行われております。 ・上記23と同様 ・そう思います。 ・保護者が一緒に避難訓練をすることがないので、あっても良いのかもしれないと思いました。	防災訓練は月に1度実施することが事業所に義務として課されております。どのクラス、どの頻度のお子さんも避難訓練を経験し、有事の際に少しでも迅速に避難できるように、訓練の日を月毎に曜日を変えて実施しております。その訓練当日が親子日の方と一緒に参加していただいております。実際の訓練にご参加いただけなかった保護者の方にもイメージをもってもらえるように今後は説明の機会を検討してまいります
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	75 81.5%	12 13%	なし	5 5.4%	・とてもなされていると思います。 ・非常時にパニックにならないよう、定期的に避難訓練行われているので安心していきます。 ・そう思います。 ・トランポリンを人数制限なく、飛ばせるのは危険なのでやめてほしいです。	引き続き、子どもの安全を確保するための安全計画を作成し、保護者の方への周知を徹底してまいります。道具の使い方についても安全面を考慮し、使い方の変更、遊具の検討を続けてまいります。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	81 88%	7 7.6%	1 1.1%	3 3.3%	・軽いケガをした時の説明の際、子どもを迎え入れてバタバタしたときに混ぜ込んで説明するのはやめて欲しい。 ・早急に対応していただき、単独登園の日に関わった場合には必ずご連絡いただいております。 ・そう思います。	引き続き、怪我等が起こった際は、丁寧な状況説明とともに対応策をお伝えしてまいります。また、ご指摘にあったように、お伝えする際の状況を考えて説明する時間を確保するようにしてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	88 95.7%	3 3.3%	なし	1 1.1%	・ムラがあるが、おおむね自ら進んで通っている。がゆえにそうでない時が割増して親も辛くなる。 ・安心して通っていると思います。 ・変わらない居場所として、本人の心の支えになっていると思います ・そう思います。 ・不安定な日があり、バス乗る前や降りる時に泣くことがあり、不安感がある時がある。 ・子供が安心できるような雰囲気や先生方全体で作っていただいております。クラスでも安心できるような環境をよく整えてくださっていて、療育に専念できていると思います。	不安な様子を速やかに把握し、ご家族と一緒に対応方法を考えていきたいと思っております。ご家庭での様子もごまめに聞きとらせていただき、連携を図りながら、安心して通っていただけるように努めてまいります。どのお子さんにとっても安心して楽しい場であるように、また、生活の幅が広がるための学びの場であるように、今後も療育技術の向上に努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	76 82.6%	14 15.2%	なし	2 2.2%	・10月末頃から行き渋りが始まりました。通園だけを行き渋っているわけではないので何が原因かは今のところ不明です。 ・毎週通園の日を楽しみにしています！ ・嫌がらず通っております。 ・気分や体調によっては行き渋る日もありますが、通い始めの頃より先生方や場所に対する、安心感があるようで、基本的にはすんなり登園してくれる頻度が増えました。 ・とても楽しみにしている ・毎回今日は何するの？と楽しみにしております。 ・そう思います。 ・毎日行き渋りなどもなく、笑顔で通園できています。先生方やあおばでの活動が大好きなんでしょうというお子様を見ていて伝わってきます。	お子さんの不安な様子が何を現わしているのか、原因や背景をご家族と一緒に探り、解決に向けて対応を考えていきたいと思っております。通園に安心して通っていただけるように、これからも丁寧にお子さんに関わってまいります
	29	事業所の支援に満足していますか。	83 90.2%	9 9.8%	なし	なし	①もう少し活動の時間を多くして自由遊びは減らしても良いのではないかとと思うが、幼児にとっては現状くらいが望ましいものなのか分からない。 ②先生方には感謝しかありません。個人の療育として見ると、もう少しじっくりと個別支援していただける時間が欲しいと思う部分もありました。でも、いろんなお子さんがいる中での対応なので仕方ないと思っています。 ・本人の抱えている課題を保護者と共有して、どうしたらより良くなるのか考えて実践して下さって大変助かっています。 ・子どもがとても毎回楽しみに通える場所を提供してくださり、ありがとうございます ・満足しております/とても満足している ・のんびりと時間が流れるので、もっとたくさん脳に刺激があるような課題や外出イベントを増やしてほしいです。 ・あおばに通うことができなかったらどうなっていたかわかりませんが本当にありがとうございます。 ・完璧な対応などは無い、と思っております。 ・その時期、その時に応じた個別支援をしてもらっていると認めているのでその点は満足です。 あおばに通えて幸せに思います。いつも熱心に温かく、思いやりを持って子供に接していただいている感謝の気持ちでいっぱいです。先生方が一生懸命、毎日子供たちに接してくださっているのが励みになり、親としても子育て、療育を頑張っています。 ・「よくわからない」というのが親の本音。理由は前述のとおり	①課題を設定している場面とある程度お子さんの遊びに自由度がある場面が1日の中にもどのクラスにも組み込まれていると思っております。自由度の高い場面にも様々な意図があり、クラスやお子さんの様子によって環境設定や使用する道具も異なります。ぜひ所属するクラスの担任に狙いや意図をお尋ねください ②ご提供している療育が十分でないとお感じになっている点についてお詫言いたします。少ない人数とはいえ、小集団の中でタイムリーに個別の支援が行き届かないことがあったのかもしれない。できる限り一人ひとりに必要な支援を適切に提供できるように努めてまいります。 いつもあおばの運営にご理解ご協力をいただきましてありがとうございます。皆様のご理解ご協力がなければ通園のスムーズな運営はできなかつたと思っております。今後もお子さんやご家族の生活が安心安全で、地域で楽しみながら活動の場を広げていけるように、職員一同、自己研鑽を続け、良質な療育サービスを提供できるように努めてまいります。